

高圧ガス設備の耐震補強支援事業

平成30年度予算額 **5.2億円（4.3億円）**

事業の内容

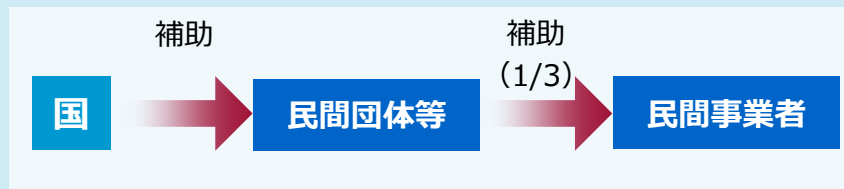
事業目的・概要

- 東日本大震災の被害を踏まえ、見直しを行った球形タンクに係る耐震基準への既存設備の適合を促進します。
- また、今後、より大きな地震が発生する可能性も指摘されているため、敷地外の建物等に被害を与えるリスクがある保安上重要度の高い既設設備について、耐震補強対策を支援します。
- これらの取組を通じて、高圧ガス設備の耐震性の強化を図ります。

成果目標

- 平成26年度からの事業であり、高圧ガス設備の耐震補強を加速させることにより、高圧ガス等に係る災害事故による人的被害を伴う事故の件数及び死傷者数を、現行の事故報告体制になって以降、最小の46人以下にすることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

I. 球形タンクを支える脚部（ブレース）補強の支援

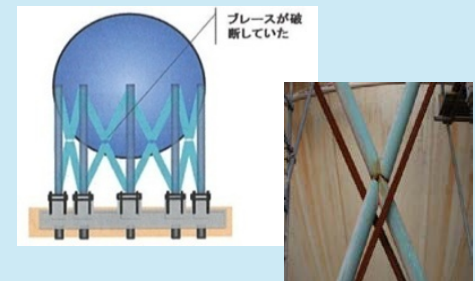
- 東日本大震災の被害を踏まえ、アンモニア等を貯蔵する球形タンクを支える脚部（ブレース）の補強に関する耐震基準の見直しを実施しました（平成25年11月29日公布、平成26年1月1日施行）。
- 球形タンクを保有する事業者が、最新基準への適合に向けて耐震補強対策に取り組む場合の費用の一部支援を行い、耐震性の強化を図ります。

II. 重要既存高圧ガス設備に対する耐震補強の促進

- 既存の高圧ガス設備のうち、敷地外の建物等に被害を与える保安上重要度の高い設備を保有する事業者が、最新基準への適合や基準以上の耐震性を確保するために耐震補強対策に取り組む場合の費用の一部支援を行い、耐震性の強化を図ります。



【東日本大震災時に発生した大規模火災の様子】



【耐震基準の見直しを実施した球形タンクを支える脚部（ブレース）の補強等対策】